

世界 YMCA/YWCA 合同祈禱週 「変革をもたらすリーダーシップ」

21世紀にキリストを生きる

～だからこの時代に生まれた～



柳沢 美登里 (「声なき者の友」の輪)

「21世紀の変革」を思い巡らすとき、私たちはどこへ向かう「変革」を目指すのかを考えさせられます。私たちが耳にする日本現代史は、「右肩上がりの成長」や「失われた20年」といった経済と連動する区切りをよく使います。「人類史」を考えると「進化論的な右肩上がり」をいつの間にか受け入れています。ですから、邪悪なことや災いが起こると「想定外」に思えてきます。けれども聖書をじっくり読むと別の歴史観があることに気づきます。あらゆる時代に「いのちを生かす動き」と「いのちを滅ぼす動き」が混在し、二千年前、自らの命を差し出して「いのちを滅ぼす動き」に打たれた終止符がやがて地上を覆うまで両者が静かに、時に激しくぶつかり合い進んでいる。聖書が語る歴史は人類の解放と回復を導く神の忍耐の足跡です。

さて、21世紀の一つの大きなチャレンジとして、米国同時多発テロ以来の「原理主義の過激派」の存在を思い起こします。今年、中東では、考えが合わない人々を虐殺、奴隷とするグループが台頭し、日本や欧米の若者を巻き込むことに私自身、大きな衝撃を受けました。21世紀に、日本と世界で若者たちにあらゆる人の命の尊さと隣人に仕える意義を考え方と生き方で示すのはどういう人々でしょうか。

私は1990年からバングラデシュで貧しい人々の自立支援に協力し、多くの穏健なイスラムの人々に出会いました。また、コーランからイエスに出会い始めた人々にも会いました。そのうちの知り合いの一人が、4年前、自らの命を差し出したイエスに倣って、地域に仕える人を育てる小さな研修グループの代表になる決断をしました。その働きを詳しく知ったのが昨年です。残虐さを是とするグループの台頭を知る前に、私たちはこの働きに協力する選択を

しました。命を抹殺する闇が覆い始めるとき、命を生かす光を静かに進める「神の歴史」に参加する機会が開かれることを思います。

21世紀はまた、情報通信技術の発達による「情報爆発」の時代といわれます。繁栄と平和が続く日本で情報が溢れる様子は、聖書のソロモン王の時代に似ているかもしれません。当時の世界で豊富な知識と知恵にあふれたソロモンが達した結論は「あなたのパンを水に浮かべよ。月日が経って見出す」「多くの人と分かち合え。国に起こる災いは分からないから」「すべての情報を手にして判断しようとすると、動けなくなる」というものでした。合理的に自分の身を守ることを第一にするのではなく、損に見えても「分かち合え」というものです。知恵者ソロモンに勝ると語ったイエスの行動基準が「命を救い、生かす」ことでした。これこそ聖書が提示する「変革」の方向です。聖書の神は「命を生かす」働きを人に託して統治し、歴史を導いておられるのです。

私たちは4年前から北インドで、底辺のカーストとして身体的・精神的に奴隷のようにされてきた人々の回復に立ち上がったインドの仲間と協力しています。彼らは逆境の中でも、「命を生かす」人間の見方を聖書から説明します。するとそのパワーが人の内側で働き、人々の尊厳が回復されることを経験しています。40代始めの彼らが今、焦点を当てているのはインドの人口の半分を占める25才未満の次世代リーダー作りです。彼らの見方や生き方が変わり、周りに影響を与えるようになれば、十数年後にこの地方が「変革」されているという夢を描いています。

繁栄の時代の知恵者ソロモンの結論のように、自分を手放すとき、ひとりひとりが置かれた場所で出会った人々と共に「命を生かす変革」のため立ち上がる選択肢が見えてきます。そして「命を生かす」次世代リーダー育成に参加するのです。可能性とチャレンジに満ちた21世紀、「だから、この時代に生まれた」のですから。

震災後20年を振り返って

～分室活動の歩みと今後～



2001年4月、神戸YWCAは上筒井から二宮町へ会館を移転した。新会館の広さは6分の1と手狭になり、地域福祉活動を継続することが難しくなった。同時期、長年地域医療に携わってこられた賛助員の渡辺敏夫先生が坂口通の小児科医院を閉じられることになり、神戸YWCAのために場所を提供していただけることになった。「地域福祉の拠点となる」という目標を掲げて、高齢者・障害者支援、子育て支援、野宿者支援など様々な活動を展開し、現在も継続している。

1995年の阪神淡路大震災では、神戸YWCAは救援センターを立ち上げ、全国からボランティアを受け入れた。救援センターのメンバーは、被災した町を歩き、物資を配り、ニーズを拾った。そのニーズの多くは震災によってあらわになったもの

で、震災前から存在していたものであった。壊れた家に住み続け、救援物資も情報も届けられていない高齢世帯、障害があるために避難所に入れない家族。炊き出しに並ぶことができない人に食事を届ける活動から配食サービスが生まれた。様々なニーズを持つ人との出会いが活動へと発展し、現在の分室での地域福祉活動へと繋がっている。

一方、神戸YWCAは、1987年から来たるべき高齢化社会は女性の問題である、とシルバーエイジ活動企画会を立ち上げ、1988年には、地域のひとり暮らし高齢者への会食サービス「おいしん坊クラブ」を開始している。高齢者支援の流れは、ミニデイサービス、ホームヘルパー養成講座、ホームヘルパー派遣事業、そして、現在の在宅介護事業所「神戸YWCA まごの手」へと繋がっている。

今年度は、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成金を得て、「食」を通して地域をつなぐ拠点づくり事業」を実施。分室のボランティア活動とまごの手を繋ぎ、また、社会福祉法人えんぴつの家、NPO法人中央むつみ会、食品公害を追放し安全な食べ物を求める会、新神戸あんしんすこやかセンター、中央区社会福祉協議会などの地域の団体と連携しつつ進めている。分室ガレージのスペースを生かしたショップやカフェなど、地域をつなぐための新しい事業に取り組み始めた。(寺内 真子)

神戸YWCA 分室
tel.&fax. 078-221-5111

☆ちやいやあらんど
みんなで子育てを楽しもう！
合言葉は「ひとりじゃないよ」
小さい子どもたちと家族のためのフリースペースです。
毎月第1・3水曜日、11～14時
(変更の場合もあり)

☆わいわいランチ
まごころ込めた手づくりのお弁当
(昼食)を地域の高齢者に配達しています。
1食：600円(お味噌汁つき)
配達日：月から金(土日祝は休み)
「金曜食事会」毎月第3金曜日

☆わいわい亭
お昼ごはんのひとときを分室で一緒に
おいしく楽しく過ごしましょう！
毎月第2・4水曜日、11～14時
参加費：600円(昼食、茶菓つき)
「歌の会」毎月第4木曜日14時～15時

☆ケーキ焼き
ケーキ作りを通して、
添加物の入らない安全なおやつを手作りする楽しさを味わっています。
毎月第1金曜日午後

☆わいわいデイルーム
(神戸市生きがい対応型デイルーム)
元気な笑い声がいっぱい！
小さな空間ですが、おしゃべりや歌、手づくりのランチ、ゲームや手芸などで楽しい1日を過ごしています。
毎週火曜日、10時から15時
対象：市内にお住まいで70歳以上の、自分で通って来られる方。
利用料：1,000円(昼食、おやつ、プログラム代含む)

毎週木曜日は
ガレージセール
OPEN!



ピアノ / 教室・男の料理教室もやっています！

☆夜回り準備会
灘区・東灘区で野宿している人を訪ねて話を聞いたり、何か手伝えることがあればお手伝いをしています。
毎月第2・4土曜日、18～22時
*毎週木曜日、13時30分～退院後、帰る家のない人などを訪ね、相談する病院訪問もおこなっています。

☆まごの手カフェ
おいしいお茶とお菓子でほっとしませんか？
ケアマネジャーがいます。介護の悩み、介護保険のことなど、お気軽にご相談ください(無料)。
第4木曜日、14～16時
神戸YWCA まごの手は、介護サービスの相談ができる「えがあの窓口」です。

❖ Taste the World! 世界の料理を食べよう

世界の料理を通して海外事情を学ぶ国際相互支援部の「Taste the World! (世界の料理を食べよう!)」。今年は難民事業本部関西支部の中尾秀一さんを講師にお招きし、難民問題をテーマにしたワークショップを開いた。

参加者はおにぎりをいただきながら、「難民一人一日あたりに配給される食料は、100gのおにぎり何個分?」というクイズに挑戦。難民の人々の気持ちになって一口一口、おにぎりを大事に噛み締めながら真剣に考えたにも関わらず、どのチームもハズレ（正解は8個分）。ユーモアたっぷりのお話とクイズのあとは、講師自身が撮影した世界の難民の写真を見せていただき、続いて「パレスチナ・オリーブの木」キャンペーンの紹介。楽しく難民問題の基礎を学習した一日だった。（梅澤 昌子）

生活者のことばに 思いをはせる

～ひよっこリツアー報告書完成～



今春行なった「ひよっこリツアー」の報告書が完成しました。ぜひ開いていただきたいのは「参加者の方々の思い」のページです。このツアーで出会った参加者一人一人がどんな風に3月11日を迎え、今にいたるか、そして今、どんな気持ちで福島という地で生活しているのかを率直に書いてくれました。

福島第一原発の汚染水や除染土のニュースは目にしても、生活者のこまごまとしたとまどいやストレスのことばはなかなか神戸まで届いてきません。たった6人の方の言葉ではありますが、お読みいただき、ぜひその背後にある何十万という人たちに思いを馳せていただけたらと思います。

（西本 玲子）

❖ 2014年度 世界YMCA/ YWCA 合同祈禱週 (11/9～15)

今年のテーマは旧約聖書の出エジプト記、モーセの物語から「変革をもたらす大胆なリーダーシップ」。今回はNGO「声なき者の友」の輪のメンバーとして長らくインド文化圏の貧困層の方々と関わってこられた柳沢美登里さんをお迎えし、10日（月）の夕方より講演会（軽食付き）、11日（火）9時からYMCA/YWCA合同礼拝とお茶とケーキでしばし親睦の時間が持たれた。柳沢さんからは「21世紀にキリストを生きる～だからこの時代に生まれた～」と題して、人々が「聖書の世界観」を生きることをチャレンジする活動の現状について、

また私たちが聖書のみことばに真実に生きるとはどういうことかを学ぶ機会をいただいた。昨年続きこの一週間、毎日午後のひと時（30分）に祈禱週のテキストを輪読し、聴き、考える豊かな集いが続けられたことを感謝したい。（宮田 泰子）

❖ ふれあいバザー報告

今年度の本館バザーは、台風19号上陸のため、開催中止になりました。

数ヶ月前から準備された各部署の皆様や、出店企業様、会員の皆様には、前日までに中止のお知らせをしましたが、当日は台風接近の中、地域の方が数人来館されました。

前もって寄贈された品々は、本館、分室の常設場所のほか、各部署がミ

ニバザー、ガレッジセール、毎週のカフェでの販売など工夫して提供しております。

来年3月の分室バザーに期待し、新たな企画も取り入れ、皆さまからのご支援、ご協力をいただき、共に交流を深めたいと願っております。

（バザー実行委員会）

バザー協賛企業御芳名

味の素(株)/伊那食品工業(株)/(株)上野商店/江崎グリコ(株)/エム・シー・シー食品(株)/オリバーソース(株)/(株)神戸風月堂/生活協同組合コープこうべ/高嶋酒類食品(株)/林商店(神戸南京町)/持田ヘルスケア(株)/六甲バター(株)/鯉節のカネイ(株)

ご協力ありがとうございました。



神戸YWCAの歴史は94年。長きにわたって活躍なさっている先輩

方はYWCAの歴史であり財産だ。私は会員になってまだ3年だ。所属する国際相互支援部は平均年齢が一番低い部だ。毎年、世界Yデーに「会員同士が共に活動する仲間としてお互いのリーダーシップを称えあう会」を行なっている。そこで、先輩方にYWCAでの経験や想いを語っていただく。経験が浅い私たちにとって、先輩方が過ごされてきた時間を共有できるとてもいい機会だ。

YWCAは部やグループに分かれていて、それぞれが活動している。自由に活動ができることはYWCAの特徴であり、やりがいもある。若い意見と勢いも大切だが、先輩方に助言をいただきたいときがある。私たちに先輩方が培ってきた様々な経験や想いを残していただきたい。そのためには、世代を超えた交流がもつと必要である。また、部やグループの高い垣根を越えて、もつと気楽にお茶を飲みながら、話せる場が増えればいいと思う。きつと私たちの糧になる。

（小川 佐由理）

*前号の「たてごと」で「中山手の会館」とあったのは「神戸YMCA」のことでした。お詫びして訂正いたします。

神戸YWCAへのおさそい

(注) 場所の記載のないものはすべて神戸YWCA 会館

●理科実験工作教室 (小学生対象)

12月20日(土)
「ミニ手まわし発電器であそぼう」
場所 雲中地域福祉センター
1月24日(土)
「ハンカチ染めにチャレンジしよう」
場所 神戸YWCA 本館
時間 いずれも10時～11時30分
参加費 1回200円
(小学生の募集はすでに締め切りました。大人のサポーターを募集中)

●文学講座

12月16日(火)・1月20日(火)

13時30分～15時30分

『徒然草』

講師 笠原芳光さん(京都精華大学名誉教授)

参加費 1,500円

分室わいわいバザー出店ブース募集!

2015年3月21日(土・祝)

今回は本館バザーと同様に神戸YWCAの各部・グループから出店を募ります。スペースは長机の半分です。先着順で5つまで受け付けます。奮って応募してください!(担当職員・伝明地まで申し込みください)バザー実行委員会

2014年度の
会費、まだの方は
お早めに!



クリスマス募金の お願い

神戸YWCAの働きに加えて、私たちが思いを連ねる諸団体の活動のために用いる予定です。皆さまのご協力を心からお願いいたします。

2015年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などで1月15日までに届けてください。

冬季休館日のお知らせ 2014年12月28日(日)～2015年1月5日(月)

■ 学院だより

日本語コースでは、8月にスタートした兵庫県高等技術専門学院から受託した外国人を対象とした公共職業訓練「日本語・就業カスキルアップコース」が11月7日(金)、3カ月の訓練期間を終了した。13人中、10人が修了。11月17日(月)からは、文化庁委託事業「生活者のための日本語クラス」第2期がスタート。また、「日本語教師養成コース」では、第2回目の「ボランティア講座」が始まった。外国人と共に生きる地域社会づくりのため、さまざまな日本語教育プログラムを行なっている。

(学院長 寺内 真子)

■ まごの手だより

中国のYWCAから社会福祉事業研修で職員12人が10月19日～24日来日し、東京、神戸、大阪を訪問(10月22日に神戸)。まず、職員が若いことに驚いた。神戸では、分室、まごの手見学、交流会、高齢者賃貸住宅「花たば」(ろっこう医療生協)、「てみずの会」(高齢者住宅、配食、生きがい対応型デイサービス)を見学、熱い思いを聞き、その後ハーバランド観光と1日忙しいスケジュールだったが、皆さん活発に質問し、討議された。「分室は場所が狭くても、家庭のような感じ。Yは人ですね。小さい力が大きい力になる。次の世代に伝えていく事が大事。」と話

されていた。地域の人が集え、身近にサービスできる地域高齢者福祉が大事だとの共通理解ができた。(松田 恵美子)

■ 運営委員会報告

(10月)【報告】中国YWCAから「まごの手」見学に12人訪問▶わいわいバザー中止について▶介護事業制度変更に対応するため、まごの手運営委員会設置▶YWCAフェスタin沖縄について【議事】組織編成について一運営委員会の役割、選出方法などについて。

(書記 寺沢 京子)

■ 理事会報告

11月1日(土)第2回理事会開催。出席者7人。8月末ま

での中間決算承認。まごの手職員採用の件承認。まごの手就業規則変更の件承認。

(寺内 真子)

■ 賛助員

大前 崇介
株式会社サンビルダー

(敬称略)

■ 編集後記

突然の衆議院解散、師走の総選挙。平和を守るために、私たちの一票を!日本が誤った方向に進まないように!(H・N)

2014年度
神戸YWCA
定期会員集会は
3月14日(土)です。

神戸YWCA

クリスマスの集い

日時 12月6日(土)

13時30分～15時30分

場所 神戸YWCA会館

参加費 500円

第一部 礼拝

奨励 古澤啓太さん

(日本基督教団神戸東部教会牧師)

賛美(讃美歌をうたおう会)

第二部 祝会

「みんなで祝うクリスマス」

映像・朗読

クリスマスソングやゲーム、手づくりケーキで交流の

ティータム、クリスマスグッズ販売など。

第56回神戸市民クリスマス キャロリング in KOBÉ

『まごの手をむすぶクリスマス』

日時 12月19日(金)

17時～21時30分

場所 日本聖公会

神戸聖ミカエル教会

入場無料

どなたでもご参加いただけます。

キャロリング・子どもプログラム・ほっとタイム・祈りと

祝福のとき・青年の集いなど。

ゴーフル®
いいものは時代をこえて
生き続けます

神戸且月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

(有) 佐野葬祭
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>